

高津おはなしアーカイブ

増田信一郎（ますだ しんいちろう）
さん

昭和16年生まれ 74歳
川崎市高津区蟹ヶ谷在住



◆新丸子から蟹ヶ谷へ

私の生まれは東京の大崎です。すぐに新丸子に引っ越して、成人するまでそちらで暮らしていました。

父は私が5歳の時に亡くなりましたので、母方の祖父母、母、私、3歳下の弟の5人で暮らしていました。

埼玉や高崎に知り合いがいて、疎開もしました。食べ物にはあまり不自由しなかったですね。

母は定年までずっと、日本電気に勤めて一家を支えてくれました。だから私は祖父母に育てられたようなもんですね。小学校のころよく横須賀線の貨物列車に乗って逗子に海水浴に連れていってもらいました。

こちらに引っ越したのは昭和38年だったかな。私が22、3歳のころです。少し前に土地を買って、そのままになっていたんですが、そこを不動産屋が売ってくれて言ってきたんです。現地に行ってみると、道路も整備されて便利になっていたし、新しい住民もぼつぼつ増え始めていてね。自分たちも住もうよってことになったんです。それで新丸子の方を売ってこちらに移りました。

その頃にはもう尻手黒川道路ができていました。まだ砂利道でした。

◆自転車で鉄塔へ

昔はまだ高い建物が少なかったから、新丸子から蟹ヶ谷の鉄塔がよく見えていました。子どもの頃はしょっちゅう自転車に乗って鉄塔まで遊びにきたもんです。その頃は3本鉄塔と呼ばれていて、後に2本になって、4～5年前に撤去されました。春には桜がね、それは見事でした。



昭和24年頃の田園風景（右奥に見えるのが蟹ヶ谷の鉄塔）

丘の上に中島商店って店があり、親から5円くらい小遣い貰って出かけて、そこでコッペパンを買ってジャムだのピーナツバターだのをつけて食べたりして

ました。今はコンビニになっています。

蟹ヶ谷から鷹巣橋の方へ降りる道が曲がりくねった急坂で、砂利道で竹藪があって、七曲りって呼んでましたけど、そこを自転車で降りるのがスリル満点で面白くてねえ。勢いがつくと止まれなくて川に突っ込んだり、付近の農家の野菜の洗い場に飛び込んだりしてましたよ。

(笑)

現在慶応大学の日吉キャンパスになっているところにも、陸軍司令部の大きな地下防空壕があって、入っちゃいけないんだけどこっそり入って遊んだりもしました。中は迷路みたいだった。

なので、子どものころ、この辺ではけっこう遊んでいたんです。

◆小学校は二部制

小学校は中原小学校に入学しました。私が入学する時は他に小学校がなかったんですよ。歩いて30分くらいかかったかなあ。2年生からは現在の中原中学校のところに上丸子小学校が造られたのでそちらに通い、昭和24年に上丸子小学校が丸子地区に移転しました。その後に中原中学校が設立されたんです。

その頃は学校が足りなくて午前と午後の二部制でした。午前の組と午後の組は地区で分けられて定期的に交代するんです。で、午前の子は給食を食べたら帰るの。午後の子は窓から給食食べてるのをじっと覗いてました(笑)。

給食は脱脂粉乳とコッペパンが基本なんだけど、なぜか森永ミルクキャラメルがついていたり、牛乳の中に大根が一緒に煮てあったこともありました(笑)。

◆就職コースは難関だった

中学校は中原中学校です。その後、宮内中学校、西丸子小学校、西中原中学校が次々できました。

中学3年生になると進学コースと就職コースがあったんだけど、進学コースより就職コースの方がずっと勉強が難しかったんだ。就職コースだった者は皆大手のいい会社に入っていました。

自分は県立川崎工業高校の電気科に進学して通信を専攻しました。卒業後、向河原にある日本電気に就職しました。川崎工業からは他に2人が一緒に入社しました。

◆思い出がつまった多摩川

子どもの頃の遊びといえば、なんといっても多摩川で泳いだこと。「川の家」が毎年開設され、にぎわっていました。私は家から赤い褌一つで出かけてました。それから釣りをしたこと。丸子橋の辺りが海魚と川魚の境目で、ボラ、ハゼ、アユなんか釣れましたよ。ガス橋のところではシジミも採れました。その頃のガス橋は、人が1人通れるくらいの幅で床は木でした。

河原には畑があって、トマトやキュウリ、スイカなんか植えてあって、遊んでお腹が空いたときに、ちょっと失敬したこともあったな(笑)。

それから大人がやってる麦踏みを皆で真似してやったら、麦を全部倒してしまつたらしくてえらく怒られました。

麦わらに潜ってかくれんぼしたり、冬は手作りのスキーや竹ソリ。スキーもソリも竹とミカン箱などで自分で作って

ました。雪は結構降りましたね。

もちろん丸子花火大会も楽しみでした。河原では他にオートレースもやっていたね。今も、丸子橋の近くの土手にコンクリートの観覧席が残っています。

大きくなってからは登山が好きになって、青春時代は全国の山々を登ってまわりました。今も昔の仲間と親交があり、山登りを続けています。

◆通勤路にホタルが

蟹ヶ谷に転居した時は、すでにサラリーマンになっていました。引っ越した少し後に府中まで通うことになったんですが、まだバス便が今みたいに便利じゃなかったから通勤はかなり苦労しましたね。会社は8時始業だから、朝6時半に明津からバスに乗って新城まで行って、それから南武線で分倍河原までという道のりです。当時の南武線は登戸から先は単線だったんです。床は木でできていて、油くさくってね。冬でも暖房がはいるわけじゃないし、寒かったですよ。今では想像もつかない南武線でした。

京浜工業地帯には工場がいっぱいあったからね、そこへ大勢が南武線で通勤するので“職工電車”って呼ばれてましたよ。私の通勤とは反対方向の川崎方面行きが混んでましたね。

昭和39年に東京オリンピックが開催されたでしょう？放送局の設備の仕事を担当していたから、忙しくてね。帰ってくるのはいつも深夜。終バスに乗れないことも度々でした。新城から自腹でタクシーに乗るか、歩いて帰るかですよ。

街灯なんてない真っ暗な道を歩いてい

たら小さな火の玉がいっぱい飛んでいてビックリしたけれど、実はホタルが群れを成して飛んでいたんです。すごかったですよ。この辺は水がいいからね。湧水の綺麗なのがあちこちありましたから。

夏にはカエルやセミも大合唱していましたね。

◆鳥や動物がいっぱい

引っ越してきた当時、この辺は家もポツポツとまばらで、畑や田圃、雑木林ばかりでした。

ホタルやカエルの他に、野鳥やいろいろな動物がたくさんいました。休みの日になると空気銃を持って野鳥狩りにくる人もいました。

この辺にいたのはコジュケイ、ウズラ、ハクビシン、タヌキ、アライグマ、それにヘビやムカデね。タヌキは今でもいます。アライグマやハクビシンは誰かが飼っていたのが野生化したのかもしれないね。

家ではチャボを飼っていたんだけど、野犬に殺されちゃいました。今ではすっかりいなくなりましたが、昔は野犬がいっぱいて、保健所が狂犬病を心配して盛んに野犬狩りってやってましたね。針金の輪っかのついた道具で野犬を捕まえるの。野犬狩りのことを俗に“犬獲り”って呼んでました。

◆町内会で道普請

結婚したのは28歳の時。家内はそれまで鹿島田にいたので、蟹ヶ谷に来て、環境の違いに驚いていましたよ。

その頃の自治会のことは元からの土地

の人が担ってくれていました。

道路が砂利道で雨になるとドロドロになってデコボコしていたのを、地ならしや草刈り、枝払いをしたりして、皆総出で道普請していましたね。普請に出られない人は“お茶菓子代”ってのを出していたっけな。

私は出張が多くて町内のことはあまり知らなかったんですが、30歳の時に順番で班長の役が来まして、自治会のお役目を引き受けました。それ以来、自治会の役員を引き受けてずっと関わっています。

◆マンションが増え、人も増えた

平成になって世帯数が増えました。かつてはアパートもなかったんだけどね。畑や田圃がどんどん宅地化されて、マンションが次々建って、平成元年のこの地区の世帯数は500世帯くらいだったのが、今は1,500世帯を超えています。その内3分の2はマンションの人達です。

ホテルもカエルもすっかりいなくなりました。

新しくマンションに来た人たちは子育て世帯が多いですからね、子ども会にも多い時は300~400人くらい参加しています。子母口小学校の生徒は、今800人~900人くらいでしょうか。蟹ヶ谷から通っている子どもが多いんですよ。

マンションができていなかったら、この地区は高齢者ばかりの町になっていたでしょうね。でも子どもたちは成人すると出ていってしまうケースが多いですねえ。

古くからの住人は3分の1くらいですが、そういう人たちがこれまで地域を支えてきたわけですね。でも、地域のことはこれからも誰かが引き受けていかなくちゃならないんですから、後継者の育成と若い人達の参画が大きな課題です

◆お祭りの復活

蟹ヶ谷には八太（やふと）神社がありますが、宮司さんが他の神社と兼任で普段は不在なんです。それで古くから地元の氏子さんたちが世話をして守ってくれていたのですが、その方たちもだんだん高齢になりますでしょうか？それで新しく転入してきた人たちも一緒になって15年ほど前に奉賛会を設立したんです。奉賛会の方も役員をやっています。

年末年始の行事、初詣だね、どんど焼きも神社の広場でやっています。最近じゃ初詣に5~600人くらい来るようになってます。それから節分の行事、秋祭りもやるようになりました。

祭りをやるのにお神輿がなかったんで樽神輿を作ったね。山車もあるんだよ。未だにリヤカーで引っ張ってるけどね（笑）。子どもたちは結構楽しみにしていますよ。きっといい思い出になると思います。

◆生活も変わりました

引っ越してきた当時、この近所には店は何もなかったね。上がって行くと市営蟹ヶ谷住宅があり、中島商店の他に肉屋、乾物屋、あと御用聞きして配達してくれるところがありましたね。下の方に行くと米屋、肉屋、魚屋、少し後になって床

屋、寿司屋ができました。

御用聞きっていても電話で注文するんじゃないですよ。電話なんてなかったものね。電話を引いたのは結婚してからだから昭和44年か45年のことでしたもの。注文を聞きに来て、若いお兄さんが届けてくれていました。

今は買い物するときは元住吉か新城に行ってます。

テレビは新丸子にいたころから家にありました。プロレスが一番の楽しみでしたね。テレビがないときはお風呂屋さんで見ました。

ところが引っ越して来たら電波が届かなくて見れなかったんだよ。画面が二重になってしまうんだ。今じゃ考えられないですね。

◆道路事情も変わりました

交通も便利になりました。昔は新城に行くバスしかありませんでした。今は綱島、日吉、川崎、小杉、溝の口、鷺沼、どこへでもバスで行けるようになった。便利になりました。

昔なかったものといえば、平成になって信号も取り付けられました。綱島街道からの抜け道になるもんだから、横浜の車が通ることが増えたんだね。以前は信号なんて必要なかったものね。

今は女性も車を運転するのが当たり前になっているけれど、家内が免許を取って運転を始めたとき、この地区の女性ドライバー第1号だったのではないかなと思います。珍しかったんですよ。

◆あの鉄塔はなくなりました

子どもの頃新丸子から眺めていたあの鉄塔は撤去されてしまいました。昔はどこからでも見えるあの鉄塔が目印になっていたんだけどねえ。

鉄塔のところに市営住宅があったんだけど、アパートとかじゃなくて、モルタル2階建ての庭付きの家だったんだよ。それも今はすっかり新しいマンション形式に建て替えられました。

引っ越してきた頃、矢上川沿いの桜並木が素晴らしかったのを覚えています。あの頃の面影は消えてしまい、郊外の住宅街になってちょっと淋しい気持ちです。その頃の方が気温が低く、涼しかったです。外から帰ってくるとき、家が近づくにつれて気温が下がっていくのがわかるくらい涼しかったですよ。

残り少ない自然等を後世に残していきたいなと思っています。

(平成28年9月29日取材)